

活動報告（１）

会議の名称	第８回春日部市在宅サービス多職種連絡協議会	
開催日時	平成２８年１月２２日（金）１９：３０～２１：００	
開催場所	春日部市保健センター（ふれあいキューブ６階）	
出席者・所属 （敬称略）	春宅会会長	山崎 典之
	春宅会副会長	竹田 広樹
	春宅会副会長	南本 浩之
	春日部市医師会	名越 啓史
	春日部市医師会	遠藤 賢
	春日部市医師会	渡邊 真司
	春日部市立病院	三宅 洋
	春日部市歯科医師会	山崎 裕司
	春日部市薬剤師会	今井 良仁
	春進センター代表	高柳 寛
	認知症初期集中支援チーム	大野 智之
	地域包括支援センター代表	長谷部 朋子
	居宅介護支援専門員代表	志村 暁彦
	居宅系サービス代表	太鼓 直人
	施設系サービス代表	榎並 久枝
	春日部市役所健康保険部長	桜井 厚
	春日部市役所健康保険部次長	会田 和彦
	春日部市役所健康保険部参事兼介護保険課長	宗広 則行
	春日部市役所健康保険部健康課長	村田 政彦
会議議題	・ 市民向け研修会及び医療介護に関するアンケートについて ・ 春日部市在宅医療介護啓発誌（ポスター及びチラシ）について ・ 第２回春日部市介護事業連携研修・交流会について ・ 第３回春日部市医療介護職連携研修・交流会について ・ 春宅会サポーターについて	

活動報告（２）

活動内容・決定事項

《市民向け研修会及び医療介護に関するアンケートについて》

- ・ 春日部市健康フェアの中で、市民の方々が在宅医療・介護についてどのように考えているのかを中心としたアンケートを実施。

《春日部市在宅医療介護啓発誌（ポスター及びチラシ）について》

- ・ 健康フェアでのアンケート結果からも市民向けの在宅医療・介護の啓発の必要性があり、P Pでのイラストを用いた市民向け啓発用の冊子を作成。
- ・ かかりつけ医療機関の重要性、相談窓口の存在を列挙した内容となっており、冊子の他、A 1サイズのポスター版も用意している。
- ・ 春進センターの案内と共に地域包括支援センターや公民館といった施設に配布予定。
- ・ 春進センターと各団体にて打合せの後、啓発ポスターと啓発誌の配布・掲示を行っていくことを確認。

《第２回春日部市介護事業連携研修・交流会について》

- ・ 春日部市医療介護職連携・研修会が５月・１１月で定例化、その他に春日部市介護事業連携研修・交流会を２月・８月で開催、春宅会関連の研修・交流会が３カ月周期で行う。

１．開会挨拶

春日部市健康保険部介護保険課より

２．研修会

演題① 春日部市地域ケア会議ガイドラインについて 講演①、講演②の前にスペース

講師：春日部市健康保険部介護保険課 中澤一城氏

演題② 春日部市における地域ケア会議のあり方や進め方について（実践報告）

講師：春日部市第７地域包括支援センター 熊田一江氏

３．連携交流会

テーマ「自立支援について」 テーマの前にスペース

～困っていること、出来ること、解決するためには…～

４．各グループ発表

５．閉会挨拶

春宅会 山崎会長より（仮）

- ・ 「地域を考えよう」というテーマの下春日部市と第７包括の協力を得、今後活発になっていく地域ケア会議がどのようなものであるかを介護職者へ説明、啓発するような研修を予定。
- ・ 交流会については、自立支援というテーマの下、職種ごとの現場における問題点や解決策についての話し合いと発表をする会を予定。
- ・ 介護職者からは１８時から開催希望したが、会場の都合により１８時３０分から２０時までの開催予定。

活動報告（２）

活動内容・決定事項

《第３回春日部市医療介護職連携研修・交流会について》

- ・ 第３回春日部市医療介護職連携研修・交流会は平成２８年５月２３日（月）の開催予定。
- ・ 今後は、事前に開催日を打合せして決定し、会場の予約を前もって行っていくことを確認。

テーマ：『認知症について考えよう』

挨拶：春日部市長石川良三氏、山崎会長、春日部保健所長原繁氏より

講演テーマ「春日部市における認知症初期集中支援チームの活動について」（仮）

講師：武里病院 院長 大野 医師

テーマ「認知症に対する春日部市地域包括支援センターのかかわりについて」（仮）

講師：春日部市第６地域包括支援センターより

情報交換会

テーマ「認知症に対する地域での取り組み」（仮）

～医療介護職の役割、かかわりとは…～

- ・ ２演題目は地域包括支援センターからの発表として決定し、演者は後日地域包括支援センター内で決定。
- ・ 平成２７年に春宅会関連として開催された研修・交流会の参加状況を集計し、参加率を上げていく為の取り組みを今後も継続していく。

《春宅会サポーターについて》

- ・ 春宅会の取り組みの中では、現場からの意見の取り入れ、春宅会での審議、現場への反映という事が重要。その中で現場からの意見の吸い上げや現場が必要としている研修内容といった事柄の確認の必要性から、研修会参加者を対象に協力者を募っている。
- ・ 現在５６名が参加。この活動を春宅会サポーターとして承認してほしい。